

【診療科:血液腫瘍内科】
 【レジメン登録番号:IG-103】

〈 R-MPV-A療法(寛解導入療法) 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)													
			1	2	3	4	5	6	7	8	14				
リツキシマブBS	375mg/m ²	div	○													
オンコピン	1.4mg/m ² (max2mg/body)	div		○												
メソトレキセート	3,500mg/m ²	div		○												
塩酸プロカルバジン (奇数コースのみ)	100mg/m ²	p.o		○	○	○	○	○	○	○	○					

【1コース期間:14日】 【総コース数: 5~7コース】

【適応癌種:CD20陽性中枢神経系原発悪性リンパ腫(PCNSL)】

【時期:術前、術後、手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

投与プロトコール

<day1>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	ホラミン 1A	div(全開で)
	ソル・コ・テフ(100mg) 1V	
	生理食塩液 50mL	
Rp.2	リツキシマブBS 375mg/m ²	div(添付文書 参考に)
	生理食塩液 500mLで10倍希釈	

<day2~8(奇数コースのみ)>

Rp	薬剤名	投与経路
Rp.1	5-HT ₃ RB	p.o.(day3~8) 備考④
Rp.2	塩酸プロカルバジン 100mg/m ²	p.o.(1日1~3回)

<day2>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	5-HT ₃ RB	div(30分かけて)
	テキサト 6.6mg	
	生理食塩液 100mL	
Rp.2	オンコピン 1.4mg/m ² (Max 2mg/body)	div(全開で)
	生理食塩水 50mL	
Rp.3	メソトレキセート 3,500mg/m ²	div(3時間で)
	生理食塩液 500mL 備考②	

<day3~5>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	レボネリナト 7.5mg/m ²	div(全開で)/6時間毎 /全9~12回投与 MTX投与開始24時間後に開始
	生理食塩液 100mL	

【参考文献:J Clin Oncol 31:3971-3979.】

【備考①:リツキシマブBS投与の30分前に抗ヒスタミン剤、解熱鎮痛剤等の前投与を行うこと。
 また、副腎皮質ホルモン剤と併用しない場合は、副腎皮質ホルモン剤の前投与を考慮すること。】

【備考②:生理食塩水の量はメソトレキセートと合わせて500mLとなるようにする。】

【備考③:塩酸プロカルバジンは奇数コースのみ。】

【備考④:day2の5HT₃RBは点滴で投与。内服の場合、塩酸プロカルバジン投与の1時間前のため食前でも可】

【変法情報:】